

## 盛岡市 後期高齢者（75歳以上）の健康状況

～国保データベース（KDB）システム等による令和6年度実績～

基本データ：75歳以上人口45,032人（16.5%）、65歳以上の高齢化率30.1%（R6.10.1現在）

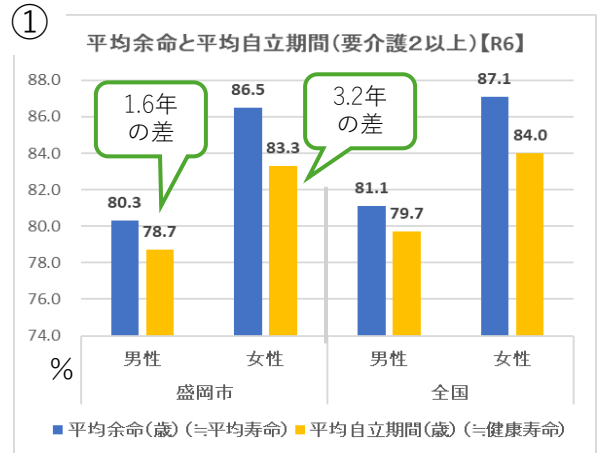
## 1. 平均余命と自立期間 ①

○平均余命と平均自立期間には、**男性で1.6年、女性で3.2年**の差があります。

○この差は、岩手県・全国と比較すると同程度です。しかし、全国では平均余命が盛岡市より長い分、自立した生活を送ることができる年齢も高くなっています。

→自立して健康的な生活を過ごせるよう、平均自立期間の延伸が重要です。

出典：KDBシステム（R6累計）



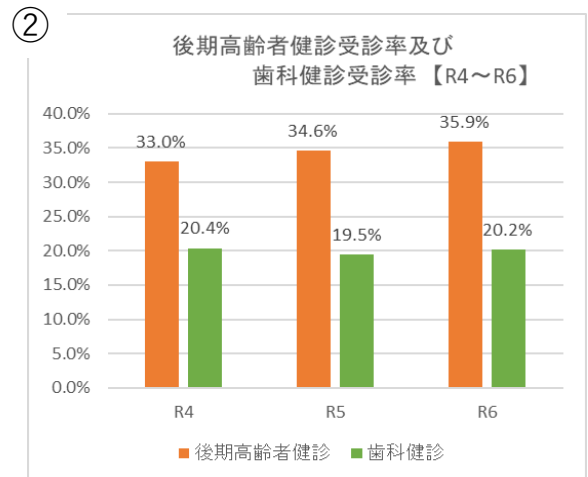
## 2. 後期高齢者健診・歯科健診受診率 ②

○R6の健診受診率は**35.9%**と微増傾向です。県（広域連合）平均（30.8%）より高い値で推移しています。また、男女比でみると、女性の受診率が低い傾向が続いています。

○75歳の歯科健診受診率は**20%前後**と低い状態で推移しています。

→持病などで通院中の方も、年に1度の健康診査で全身状態を確認する機会は大切です。

出典：後期高齢者医療広域連合保健事業の概要（R6実績）



## 3. 医療費 ③④

○後期高齢者の人数が増えていることもあり、医療費全体は増加傾向です。

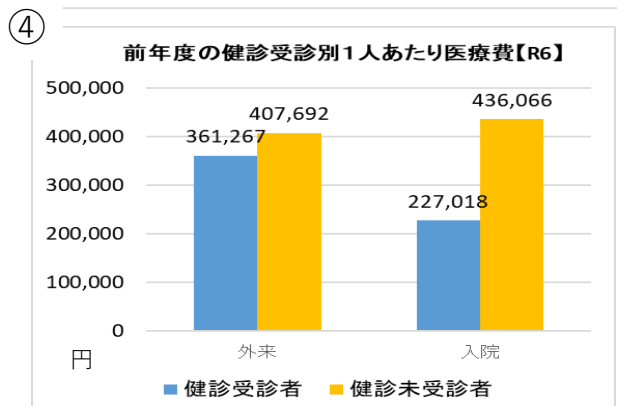
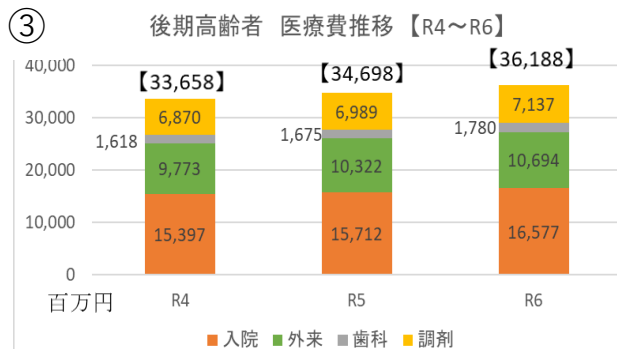
○健診未受診者の1人あたりの医療費は、健診受診者より高く、特に入院については**約1.9倍**の差があります。

○医療も健診も受けていない人は、毎年**約2,000人**います。

○透析患者の1人あたり医療費は、透析患者以外の人と比べて**約6.7倍**高くなっています。

→定期的な受診や健診が、病気の早期発見、重症化を防ぎます。

また、医療費を抑えることにもつながります。

出典：・KDBシステム（R6累計）  
・医療費等データ分析レポート（R5）

#### 4. 治療している病気 ⑤

○治療している疾患は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病の順で多くなっています。

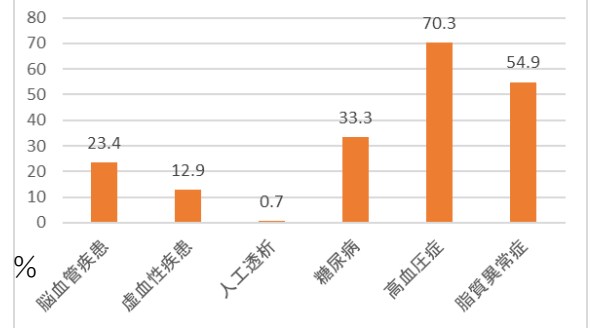
○65～75歳とほぼ同じ割合です。

→複数の慢性疾患を有する「多病」の傾向があり、若い頃からの生活習慣病予防、介護予防が重要です。

出典:KDBシステム(R6累計)

⑤

各種疾患で治療している人の割合【R6】



#### 5. 要介護認定者 ⑥

○令和6年度累計の認定率は**21.3%**で、岩手県(20.0%)、全国(20.1%)と比べるとやや高い状況が続いています。

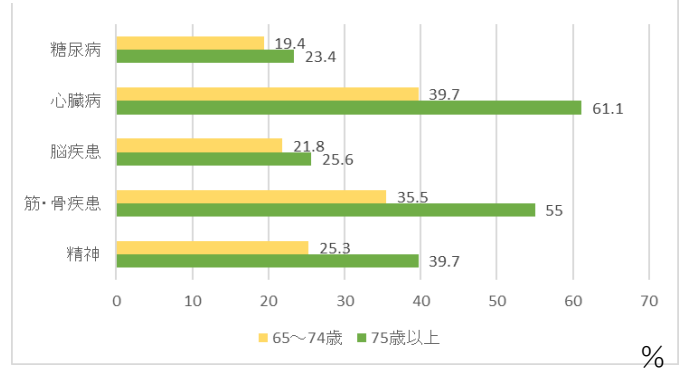
○要介護認定者が抱えている疾患で多いのは、**心臓病**と**筋・骨格系**です。どちらも、75歳以上で急激に増加しています。

→疾病の悪化防止と、フレイル予防※が大切です。

出典:KDBシステム(R6累計)

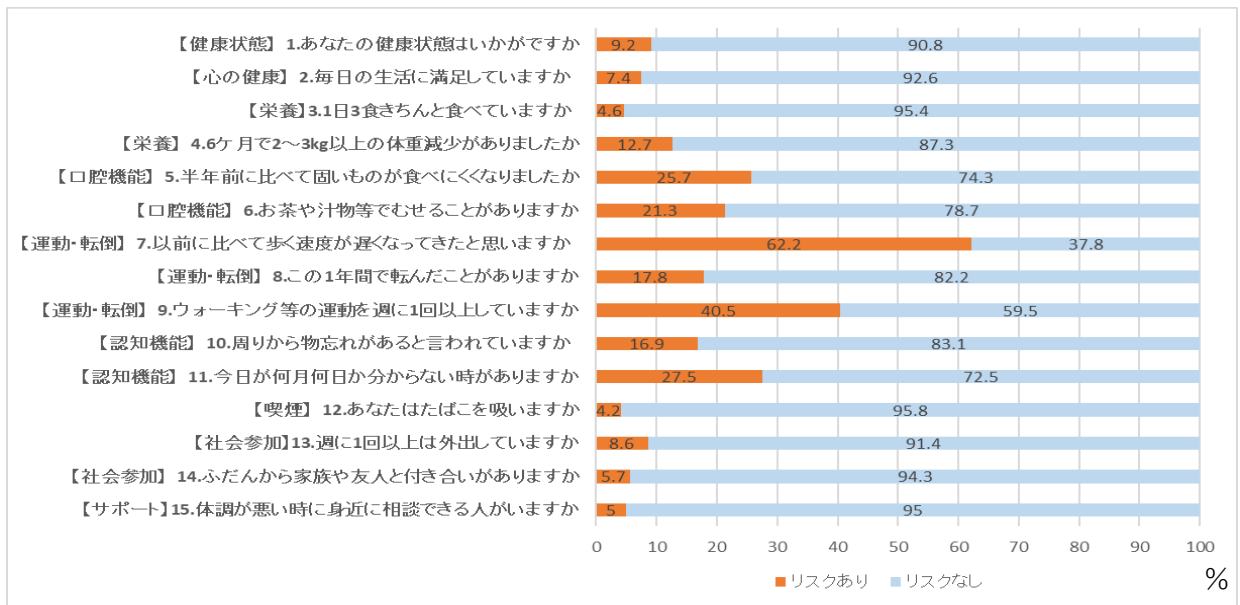
⑥

要介護認定者の主な有病率【R6】



#### 6. フレイルチェックから見た盛岡市

※R6後期高齢者健診時の質問票の結果より



○6割以上の方が「歩行速度」でリスクが高くなっており、県、全国と比べても高い状況です。

○経年的にみると、「運動」「認知機能」「社会参加」の面で改善傾向です。

→複数の項目でリスクがあると、要介護状態になりやすいといわれています。年に1回は自身の状態を振り返りましょう。

出典:KDBシステム(R6累計)

#### 7. 家庭訪問からみえたこと

○健康状態不明者(過去2年間、健診及び医療を受けていない者)232人へ家庭訪問したところ、**口腔リスクを抱えている人が最も多く(36.5%)**、次いで運動(25.8%)栄養(14.6%)リスク有という状況でした。

○低栄養のハイリスク者は年々増えています。

→自覚症状はなくても、定期的に体の状態を把握することは大切です。

※フレイル:年齢を重ねるとともに心や体の機能や活力が低下した、「健康」と「要介護」の中間の状態のこと。早めに気づくこと、対処することで健康な状態へ回復することがまだまだ可能な時期。